



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社YU-WA Creation Holdings 上場取引所 東
 コード番号 7615 URL <https://www.yuwa-holdings.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 雅親
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浅香 竜也 (TEL) 03-3639-9191
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,777	△9.0	△188	—	△192	—	△196	—
2023年3月期第1四半期	1,953	6.3	△118	—	△122	—	△125	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △196百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △125百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△17.49	—
2023年3月期第1四半期	△10.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	10,514	3,880	36.9	346.51
2023年3月期	10,898	4,111	37.7	366.71

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,880百万円 2023年3月期 4,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,527	2.4	67	—	53	—	37	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	12,498,200株	2023年3月期	12,498,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	1,299,354株	2023年3月期	1,286,839株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	11,210,810株	2023年3月期1Q	11,580,384株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式 (2024年3月期1Q 351,300株、2023年3月期 351,300株) が含まれております。また、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式 (2024年3月期1Q 351,300株、2023年3月期1Q 351,300株) を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことに伴い、行動制限が大幅に緩和され、経済活動は徐々に持ち直しの動きが見られました。一方で、原材料及びエネルギー価格の高騰や円安の進行に起因する物価上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループでは、商品構成及び広告販促施策の見直し、改善を図り、業績回復に向けて積極的に営業活動を行ってまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

〔和装店舗運営事業〕

和装店舗運営事業の受注高は前年同期比21.7%減の1,804百万円となりました。また、売上高（出荷高）については、8.9%減の1,716百万円となりました。既存顧客を対象とした「一般呉服」等については、前期において通年で実施していた大規模店内催事の反動減が大きく、受注高は前年同期比24.9%減となりました。また、「振袖」販売及びレンタルについては、消費者意識の変化に伴うレンタル志向の増加やママ振袖ご利用のお客様が前期同様増加傾向であることなどにより単価が下落し、6月以降、受注高は前年を上回って推移しておりますが、4～5月の来店者数減少をカバーすることができず、当第1四半期の受注高としては前年同期比5.9%減となりました。

利益面においては、売上総利益率は前年同期と比べ3.4ポイント低下し59.6%となりました。販売費及び一般管理費については、広告費・販促費を中心に経費全体の削減・効率化を図ってきたものの、前述のとおり売上高が減少したことから、販売費及び一般管理費の対売上高比は0.3ポイント上昇いたしました。この結果、和装店舗運営事業の営業損失は13百万円（前年同期は営業利益56百万円）となりました。

〔その他事業〕

その他事業については、写真スタジオ事業、EC事業を中心に和装店舗との連携強化、単価アップの施策を進めておりますが、施策の定着に時間を要するため当四半期においては未だ十分な効果が得られず、売上高は前年同期比12.9%減の61百万円となりました。また、利益面においては、営業損失が30百万円（前年同期は営業損失28百万円）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高については前年同期比9.0%減の1,777百万円となりました。利益面については、営業損失は188百万円（前年同期は営業損失118百万円）、経常損失は192百万円（同経常損失122百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は196百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失125百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、7,977百万円となりました。これは、主に商品及び製品が41百万円増加したこと、また、売掛金の減少が86百万円、短期借入金の一部返済を行ったことを主要因として現金及び預金が315百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.0%減少し、2,537百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、10,514百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、6,166百万円となりました。これは、主に買掛金が48百万円、契約負債が36百万円それぞれ増加し、短期借入金が100百万円、賞与引当金が75百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、467百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、6,634百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、3,880百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が196百万円となったこと、また、配当金の支払い34百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2023年5月10日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,233,672	2,918,485
売掛金	2,781,214	2,694,853
商品及び製品	1,733,786	1,775,096
原材料及び貯蔵品	28,931	36,604
その他	582,838	552,535
流動資産合計	8,360,444	7,977,574
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	110,005	147,303
有形固定資産合計	110,005	147,303
無形固定資産		
	56,839	50,177
投資その他の資産		
差入保証金	1,605,250	1,605,250
敷金及び保証金	706,546	680,386
その他	59,072	54,176
投資その他の資産合計	2,370,868	2,339,812
固定資産合計	2,537,713	2,537,293
資産合計	10,898,157	10,514,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	223,570	272,552
短期借入金	1,400,000	1,300,000
リース債務	23,636	23,842
未払法人税等	12,798	3,013
前受金	901,018	935,285
預り金	2,615,547	2,558,549
賞与引当金	119,100	43,500
前受収益	417,652	397,873
契約負債	250,541	287,437
その他	357,232	344,605
流動負債合計	6,321,097	6,166,661
固定負債		
リース債務	43,100	37,061
株式給付引当金	4,995	7,603
資産除去債務	417,698	423,007
固定負債合計	465,794	467,671
負債合計	6,786,891	6,634,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	464,292	464,292
利益剰余金	4,312,264	4,081,534
自己株式	△765,291	△765,291
株主資本合計	4,111,265	3,880,535
純資産合計	4,111,265	3,880,535
負債純資産合計	10,898,157	10,514,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,953,217	1,777,082
売上原価	731,720	723,774
売上総利益	1,221,497	1,053,307
販売費及び一般管理費	1,340,488	1,242,266
営業損失(△)	△118,991	△188,958
営業外収益		
受取利息	5	5
雑収入	841	1,377
営業外収益合計	847	1,382
営業外費用		
支払利息	4,164	4,470
雑損失	665	207
営業外費用合計	4,830	4,678
経常損失(△)	△122,973	△192,254
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,973	△192,254
法人税、住民税及び事業税	3,076	3,013
法人税等調整額	△827	774
法人税等合計	2,248	3,788
四半期純損失(△)	△125,222	△196,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,222	△196,042

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△125,222	△196,042
四半期包括利益	△125,222	△196,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125,222	△196,042
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装店舗 運営事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,883,070	70,147	1,953,217	—	1,953,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,883,070	70,147	1,953,217	—	1,953,217
セグメント利益 又は損失(△)	56,275	△28,151	28,124	△147,115	△118,991

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△147,115千円は本社管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装店舗 運営事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,716,005	61,076	1,777,082	—	1,777,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,716,005	61,076	1,777,082	—	1,777,082
セグメント損失(△)	△13,197	△30,551	△43,749	△145,209	△188,958

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△145,209千円は本社管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2023年7月21日付の取締役会において、当社の監査等委員である取締役及び社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」といいます。）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分（以下「処分」といいます。）を行うことを決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2023年8月18日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 42,700株
(3) 処分価額	1株につき186円
(4) 処分総額	7,942,200円
(5) 募集又は処分方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(6) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
(7) 処分先及びその人数 並びに処分株式の数	取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く） 4名 42,700株

2. 処分の目的及び理由

当社は、2020年5月11日開催の取締役会において、対象取締役に対する中長期的なインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的とした報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議し、また、2020年6月24日開催の第49期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、対象取締役に対して、年額15百万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間として3年間から5年間までの間で当社の取締役会が定める期間とすることにつき、ご承認をいただいております。